

景気動向調査結果

(平成27年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業） 400 社）を対象に、平成 27 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 27 年 2 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、475 社（製造業 241 社（うち面接 65 社）、非製造業 234 社）で、回答率は 67.9 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成27年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、一部には弱めの動きがみられます。

製造業では、設備投資が回復傾向にあることや、海外需要が堅調に推移していることなどから、電機・電子、一般機械を中心に、受注、生産が回復しているものの、自動車部品では国内向けの一部に弱さもみられます。また、円安傾向に伴う原材料価格の上昇などがみられます。3か月後は、製造業全体では業況の改善が見込まれています。

非製造業では、前年同期と比べ、情報サービス業、卸売業及び宿泊業で改善がみられたものの、それ以外の業種では、仕入価格の上昇や個人の消費態度が慎重になってきていることなどから、悪化しました。3か月後は、非製造業全体では業況の改善が見込まれています。

2 製造業

(1) 業界の業況

消費税率引上げ前の駆け込み需要がみられた前年同期（26年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 4.2$ となり、前回調査時（26年10月）の0.0より4.2ポイント悪化しました。

3か月前（26年10月）と比較したD Iは $\Delta 16.7$ となり、前回調査時の $\Delta 7.6$ より9.1ポイント悪化し、2期連続のマイナスとなりました。

なお、3か月後（27年4月）の予想では、D Iは $\Delta 1.2$ となり、原油価格下落などの影響を背景に、前回予想の $\Delta 17.6$ から16.4ポイント改善しました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、スマートフォン向けの需要は堅調に推移しているものの、パソコン関連は一部で弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に一服感がみられるものの、自動車関連向けや産業用途を中心に、受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産の増加がみられます。建設機械は、国内向けは復興需要の継続などにより、海外向けは北米を中心とした需要の増加により、それぞれ受注、生産が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は高価格帯製品を中心に受注、生産が回復しています。レンズは自動車関連向けで受注、生産が持ち直しているほか、プロジェクター向けでは、高付加価値製品の受注、生産に持ち直しがみられます。計器は自動車関連向けで受注、生産が持ち直しています。

エ 自動車部品では、北米やアジア地域などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産の減少や、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。酒類は一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は季節的要因等により受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が31.4%と前回(37.0%)より減少し、「減少」とする企業が31.4%と前回(30.3%)より増加した結果、D Iは前回(6.7)より悪化し、0.0となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が19.1%と前回(21.8%)より減少し、「減少」とする企業が32.2%と前回(22.2%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 0.4$)より悪化し、 $\Delta 13.1$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.3%、「減少」とする企業が19.0%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 17.3$)より改善し、1.3となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が34.2%と前回(38.8%)より減少し、「減少」とする企業が30.0%と前回(27.9%)より増加した結果、D Iは前回(10.9)より悪化し、4.2となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が16.4%と前回(24.6%)より悪化し、「減少」とする企業が34.5%と前回(22.9%)より増加した結果、D Iは前回(1.7)より悪化し、 $\Delta 18.1$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.4%、「減少」とする企業が19.7%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 18.1$)より改善し、1.7となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が11.0%と前回(9.3%)より増加し、「安い」とする企業が28.7%と前回(32.1%)より減少した結果、D Iは前回($\Delta 22.8$)より改善し、 $\Delta 17.7$ となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が7.1%と前回(4.2%)より増加し、「安い」とする企業が9.7%と前回(11.3%)より減少した結果、D Iは前回($\Delta 7.1$)より改善し、 $\Delta 2.6$ となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が4.6%、「安い」とする企業が16.8%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 14.8$)より改善し、 $\Delta 12.2$ となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が7.4%と前回(4.7%)より増加し、「苦しい」とする企業が18.3%と前回(18.8%)よりやや減少した結果、D Iは前回($\Delta 14.1$)より改善し、 $\Delta 10.9$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が4.3と前回と同じになり、「苦しい」とする企業が14.8%と前回(14.5%)よりやや増加した結果、D Iは前回($\Delta 10.2$)よりやや悪化し、 $\Delta 10.5$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が6.5%、「苦しい」とする企業が15.2%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 17.2$)より改善し、 $\Delta 8.7$ となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が23.8%と前回(21.0%)より増加し、「低下」とする企業が40.2%と前回(45.0%)より減少した結果、D Iは前回($\Delta 24.0$)より改善し、 $\Delta 16.4$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が7.1%と前回(10.4%)より減少し、「低下」とする企業が32.2%と前回(28.8%)より増加した結果、D Iは前回($\Delta 18.4$)より悪化し、 $\Delta 25.1$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が10.8%、「低下」とする企業が25.8%となった結果、D Iは前回予想($\Delta 32.2$)より改善し、 $\Delta 15.0$ となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) スマートフォン向けの需要は堅調に推移しているものの、パソコン関連は一部で弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産に回復がみられます。
- (半導体関連) デジタル家電向けでは、需要の減少により受注、生産の減少が続いているものの、自動車関連向けや産業用途では受注、生産が堅調に推移しています。
- (プリント基板) 産業用途では受注、生産ともに回復がみられます。情報機器ではスマートフォン向けで、海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部で、海外需要の増加を受けて受注、生産に持ち直しがみられます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が回復しているものの、エネルギー関連向けでは受注、生産の減少がみられます。
- (モーター等) 家電向けの一部では、アジアを中心とした新興国での需要増加により受注、生産の増加がみられます。産業用途や自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しています。
- (その他) カーナビゲーションは、国内向けでは消費税率引上げによる影響が一部には残るものの、円安傾向に伴う輸出環境の改善や、北米での需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けの一部には一服感がみられるものの、半導体関連向けなどでは、設備投資の回復傾向に伴い受注、生産の増加がみられます。
- (金 型) 自動車関連向けは、新型車向けを中心に受注、生産に持ち直しに向けた動きがみられます。
- (建設機械) 国内向けは復興需要の継続などにより、海外向けは北米を中心とした需要の増加により、それぞれ受注、生産が堅調に推移しています。
- (農業用機械等) 海外向けで、北米での需要の増加により受注、生産の回復がみられる一方、国内向けの一部では、季節的要因等により受注、生産が弱含んでいます。

精 密 (時 計)	腕時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産が回復しています。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで受注、生産が持ち直しているほか、プロジェクター向けでは、高付加価値製品の受注、生産に持ち直しが見られます。
(計 器)	圧力計は、自動車関連向けで受注、生産が持ち直しています。LP ガスメーターは、季節的要因により受注、生産の減少が見られます。
自 動 車 部 品	北米やアジア地域などの海外向けでは受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。
食 料 品 (味 そ)	季節的要因により3か月前と比べ受注、生産の減少や、原材料価格上昇による収益率の低下が見られます。
(酒 類)	清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加が見られるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲 料)	季節的要因等により受注、生産に減少しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により3か月前と比べて受注、生産が増加しているものの、円安の影響などによる収益率の低下が見られます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、農産物向けで季節的要因等により受注、生産の減少が見られます。
印 刷	季節的要因により受注、生産ともに増加が見られますが、印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで受注、生産が堅調に推移しています。

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、情報サービス業、卸売業及び宿泊業で改善がみられたものの、それ以外の業種ではいずれも悪化しました。

前年同期（26年1月）と比較したD Iは $\Delta 41.6$ となり、前回調査時（26年10月）の $\Delta 34.1$ から7.5ポイント悪化しました。

3か月前（26年10月）と比較したD Iは $\Delta 40.0$ となり、前回調査時の $\Delta 24.7$ と比較すると15.3ポイント悪化しました。

なお、3か月後（平成27年4月）の予想は、D Iは $\Delta 20.7$ と前回調査時の $\Delta 36.9$ と比較すると16.2ポイント改善する見通しです。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況感は、人手不足やそれに伴う労務費の上昇などから、D Iが $\Delta 23.3$ となり、前回（ $\Delta 20.0$ ）よりやや悪化しました。

3か月後も、人手不足による労務費や円安等による資材価格の上昇が懸念されることから、業況の悪化を見込む企業の割合が増加しています。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが57.1となり、前回（25.0）より大幅に改善しました。

県外企業との競合もあり、受注件数は減少しているものの、受注価格の上昇による売上高の増加や、それに伴う収益率の改善が見られました。3か月後は、人手不足に加え厳しい受注環境や収益率の低下が予想されることから、業況の悪化を見込む企業の割合が大幅に増加しています。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 52.2$ と前回（ $\Delta 47.8$ ）よりやや悪化しました。

小売業では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要があった前年同期と比べ、客数や売上高が減少したほか、販売価格も低下傾向にあります。3か月後は、客数や売上高の減少の緩和が予想されることから、業況の改善を見込む企業の割合が増加しています。

卸売業では、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁することが厳しい状況がみられるものの、業況は改善しました。3か月後は、売上高の改善が予想されることから、業況の改善を見込む企業の割合が増加しています。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが $\Delta 28.6$ と前回（ $\Delta 5.5$ ）より悪化しました。

飲食業では、個人客の節約志向が続いていることから、業況は悪化しましたが、3か月後は北陸新幹線延伸などによる客数や売上高の増加を見込み、業況の改善を予想する企業の割合が大幅に増加しています。

宿泊業では、外国人旅行者の増加などにより、前回調査時より業況は改善しました。3か月後は、季節的要因に加え、北陸新幹線延伸などによる宿泊客の増加が期待されることから、業況の改善を予想する企業の割合が大幅に増加しています。

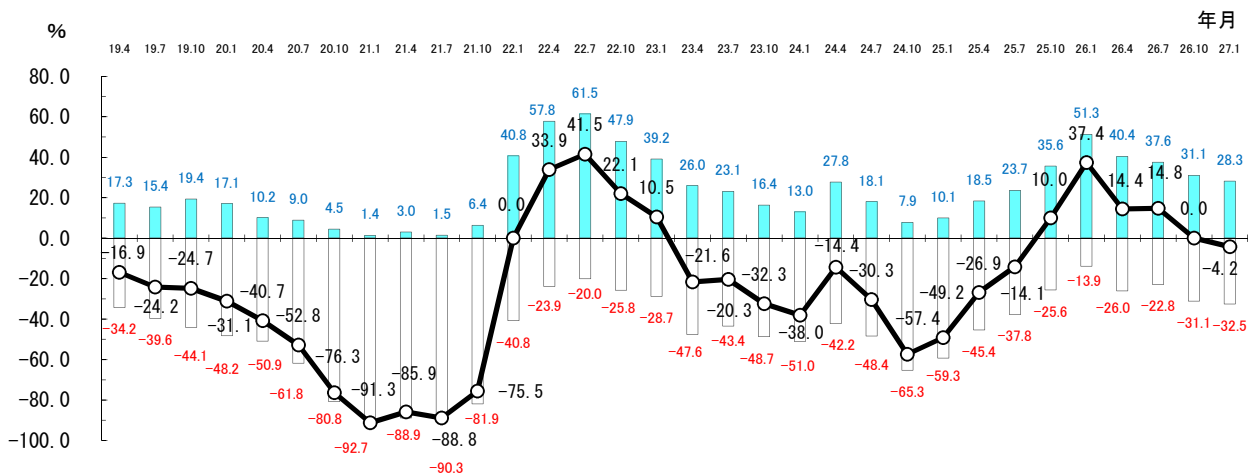
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

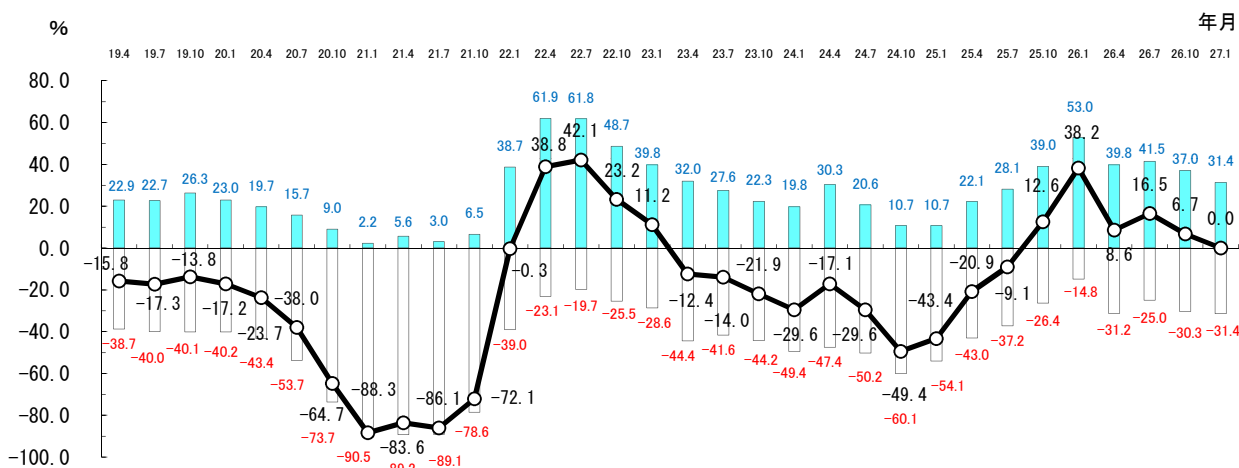
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

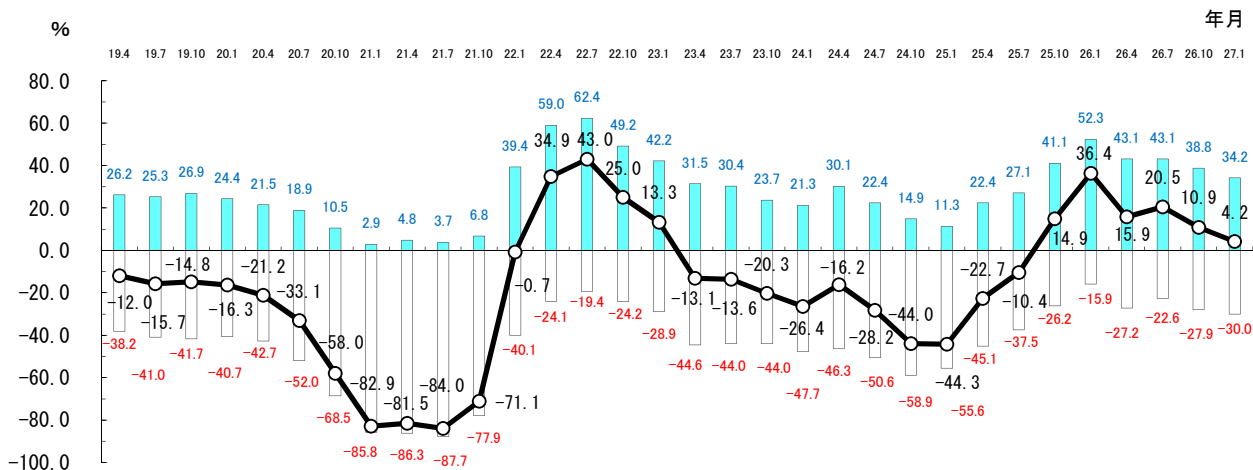
業界の業況



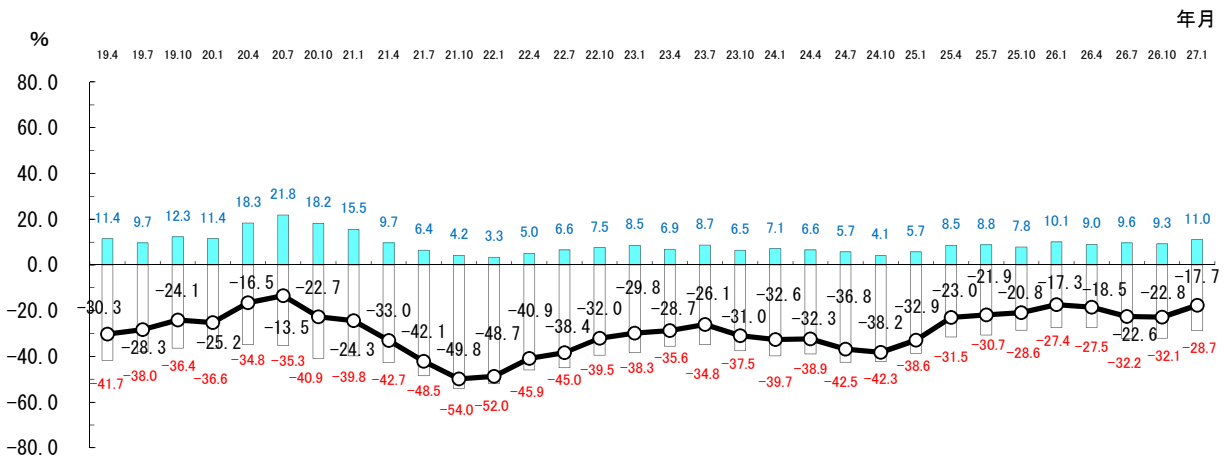
受注引合



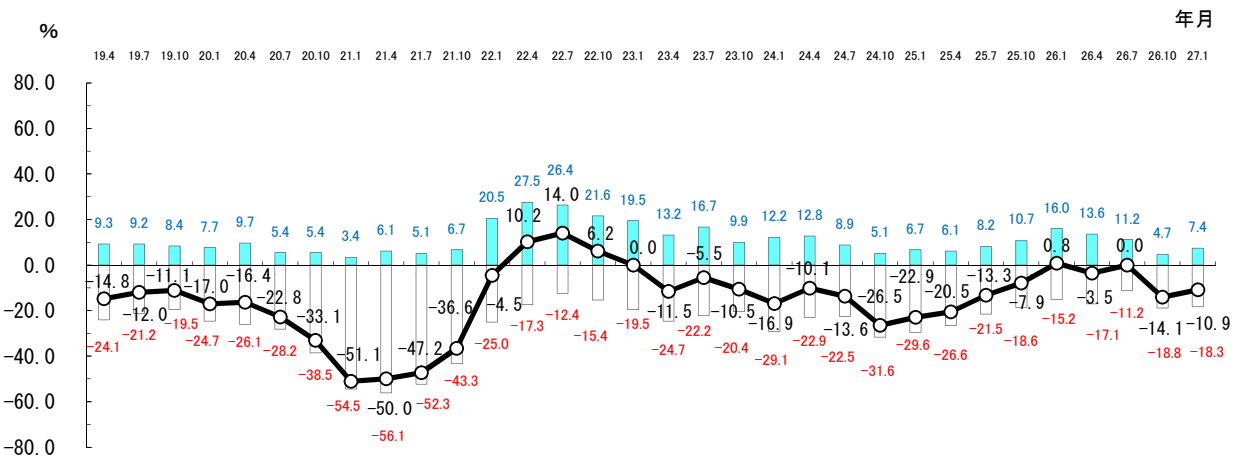
生産量



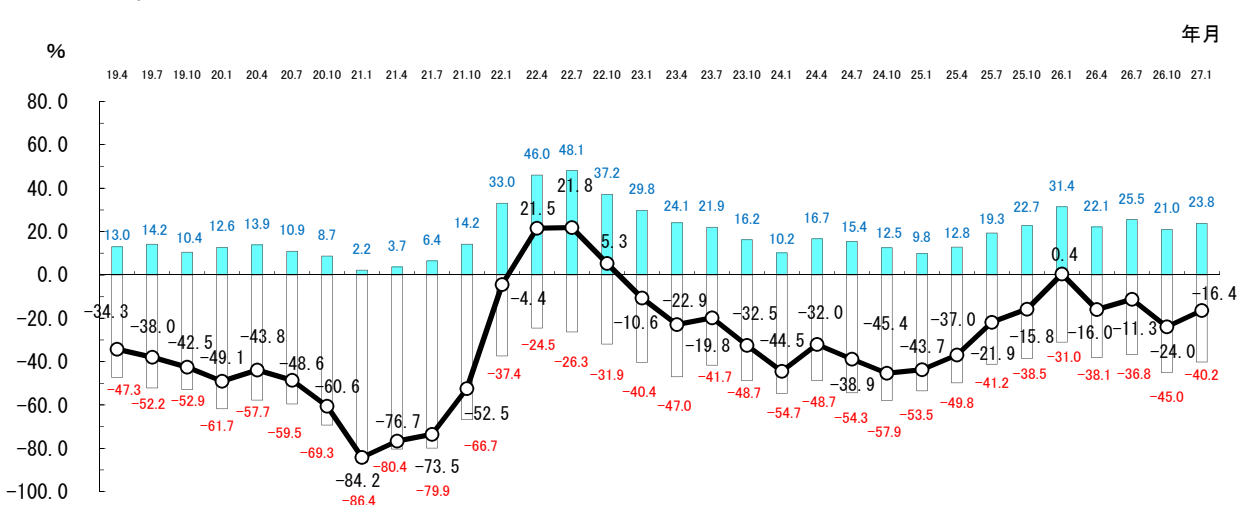
製品販売価格



資金繰り

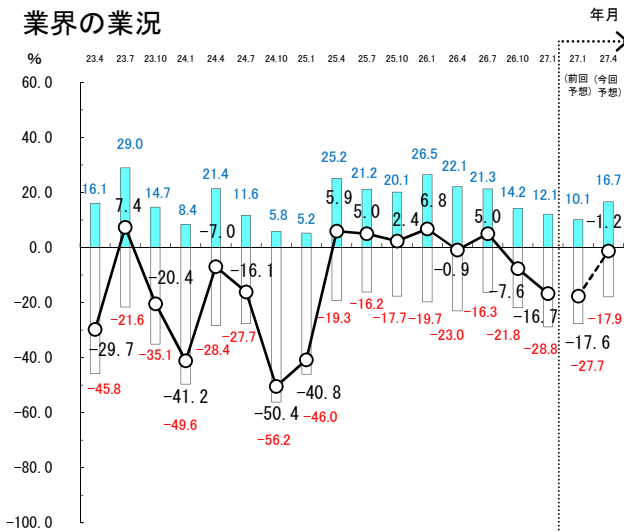


収益率

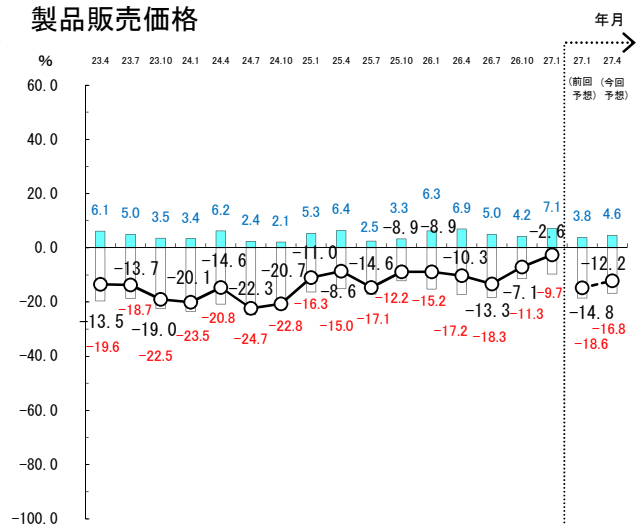


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

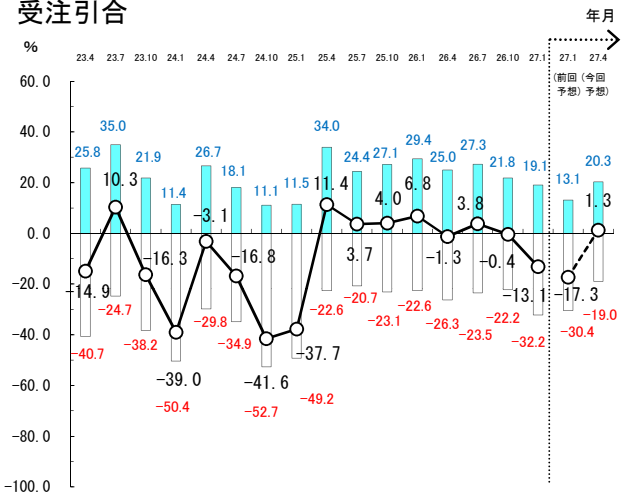
業界の業況



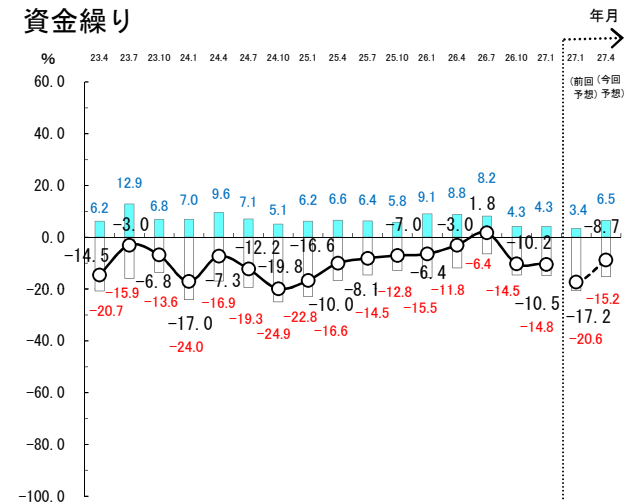
製品販売価格



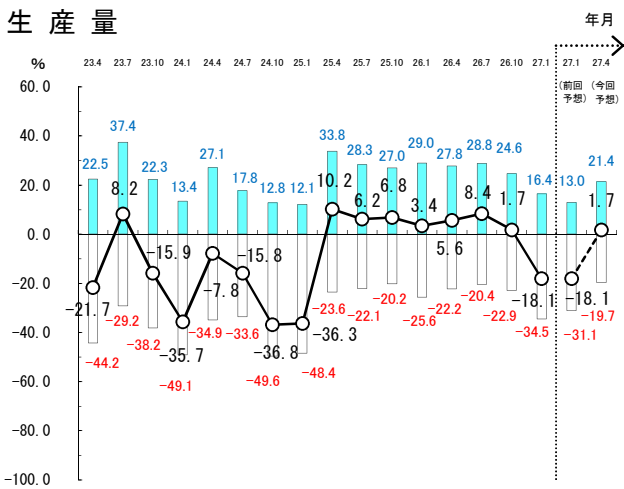
受注引合



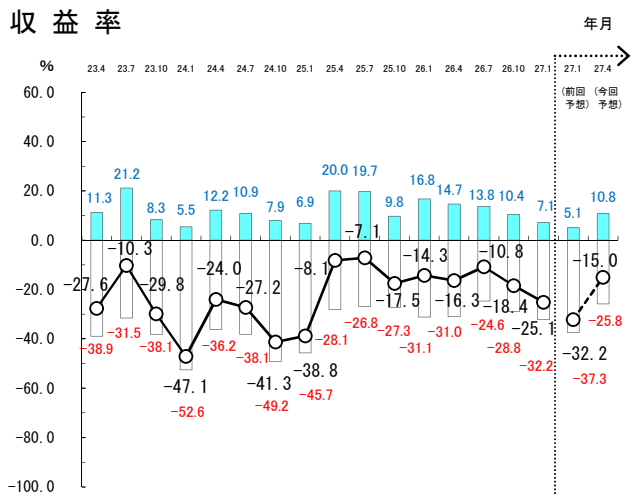
資金繰り



生産量



収益率

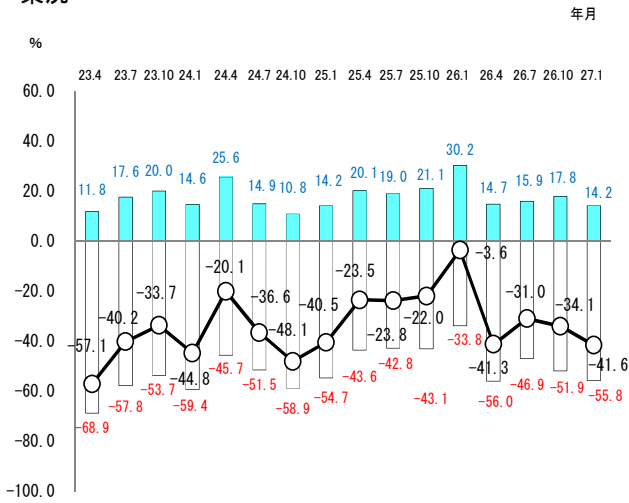


非製造業

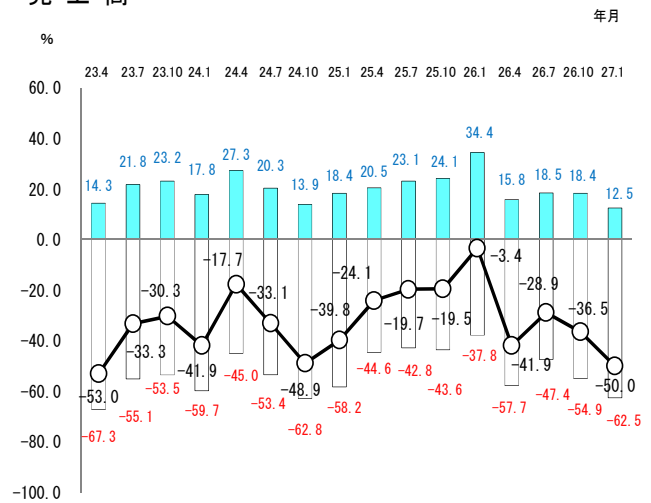
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

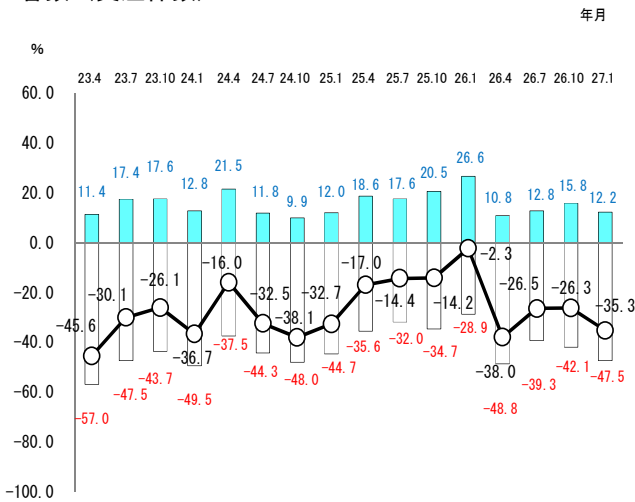
業況



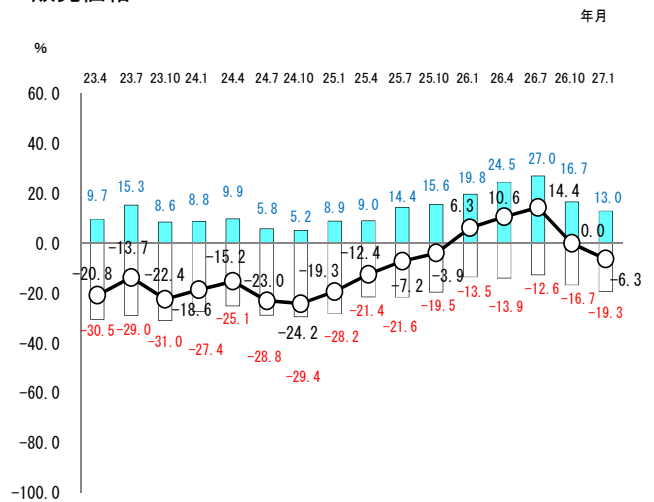
売上高



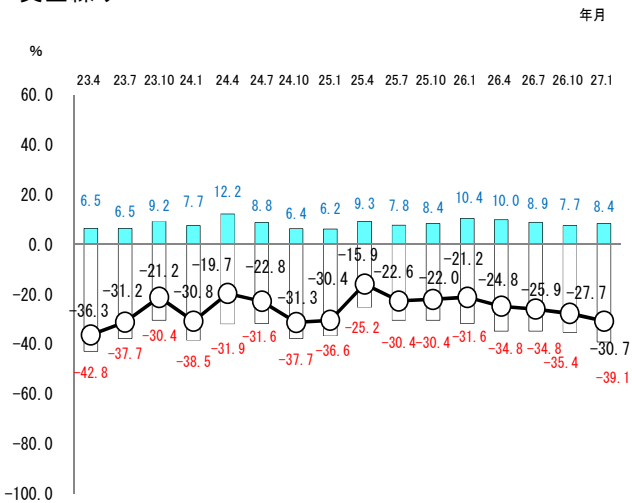
客数 (受注件数)



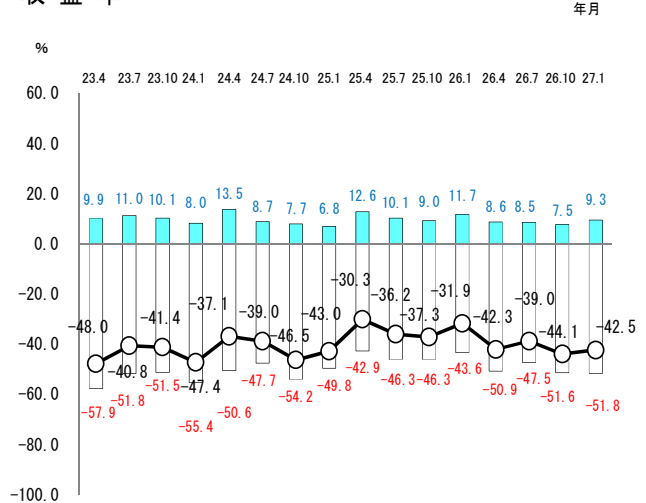
販売価格



資金繰り

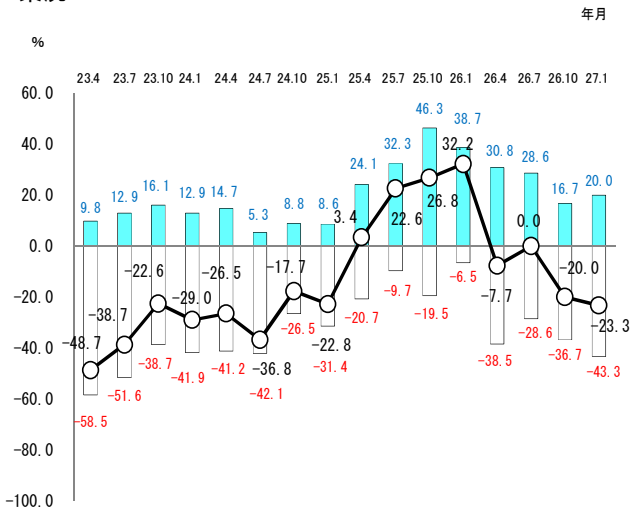


収益率

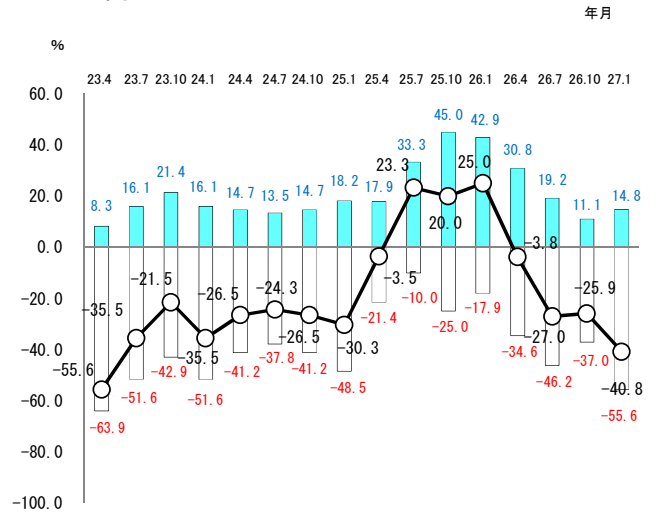


ア 建設業

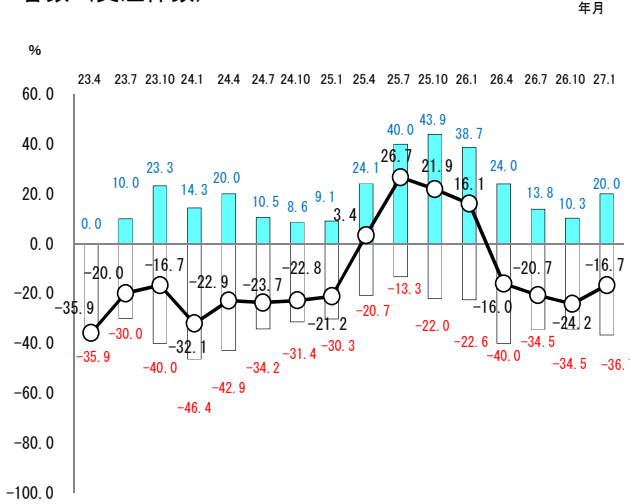
業況



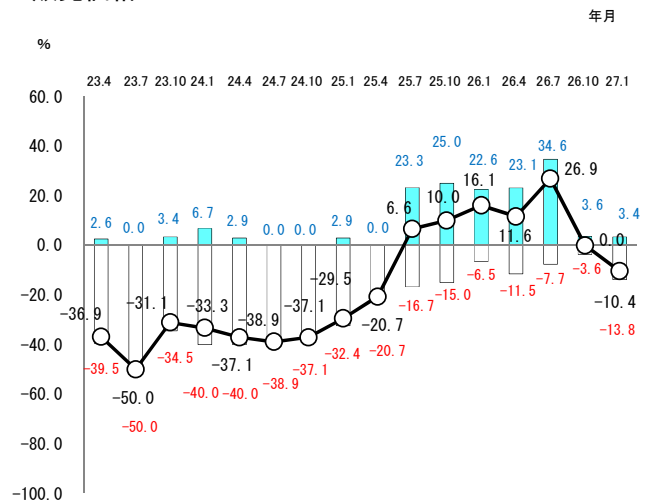
売上高



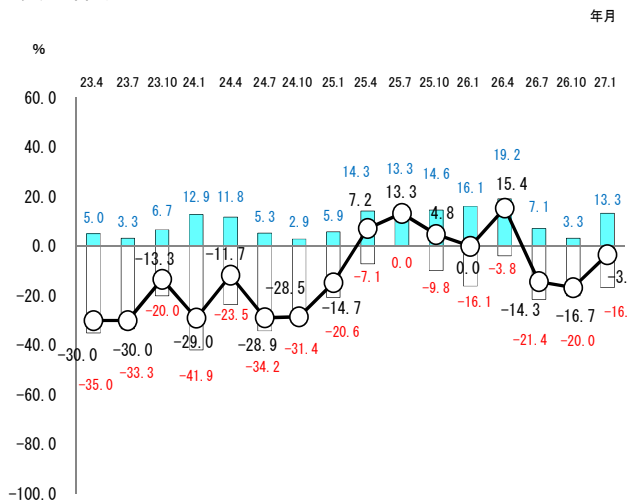
客数 (受注件数)



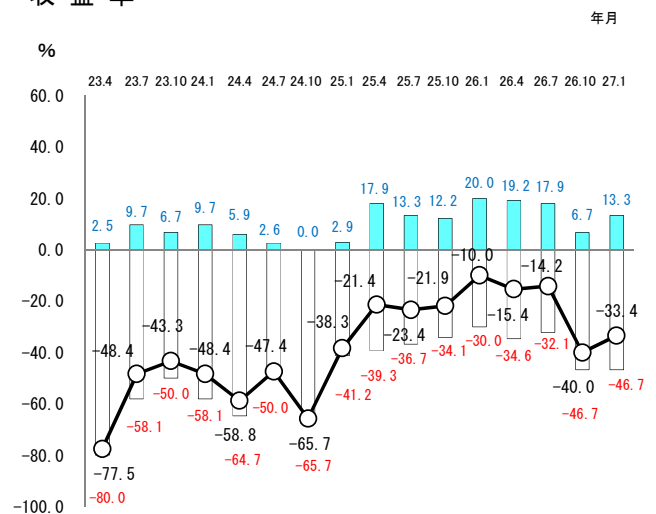
販売価格



資金繰り

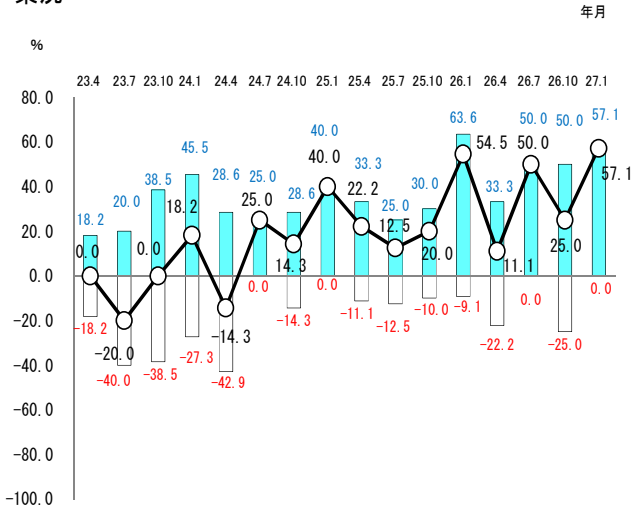


収益率

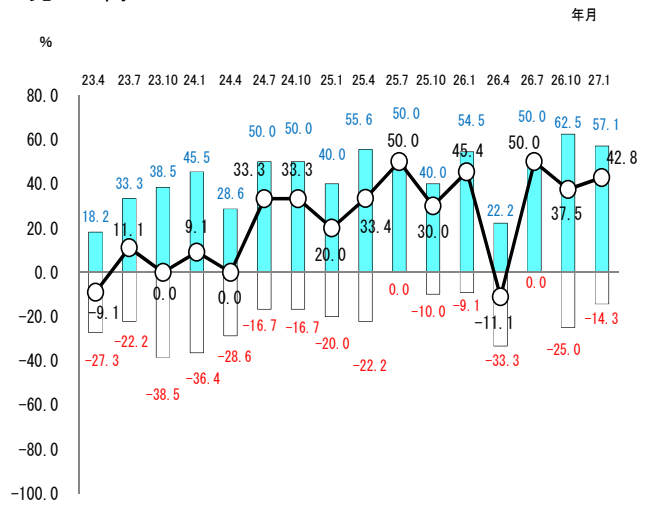


イ 情報サービス業

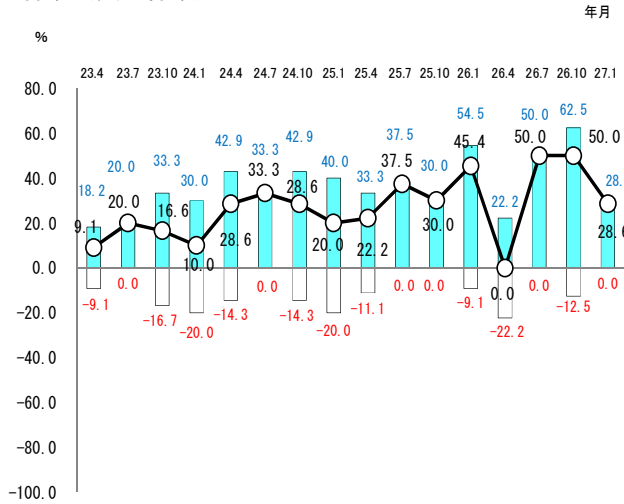
業況



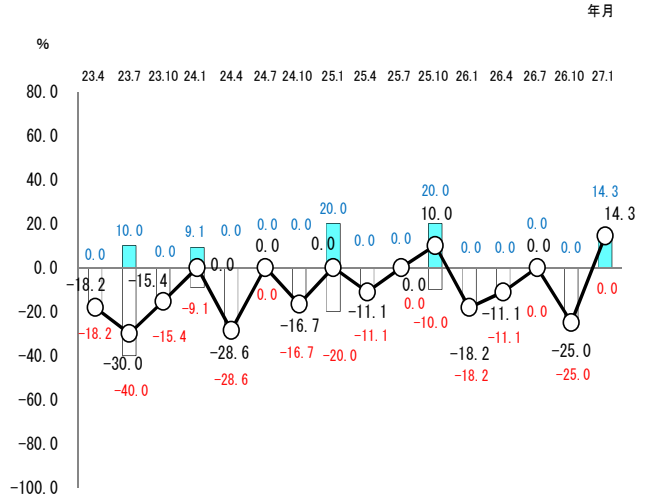
売上高



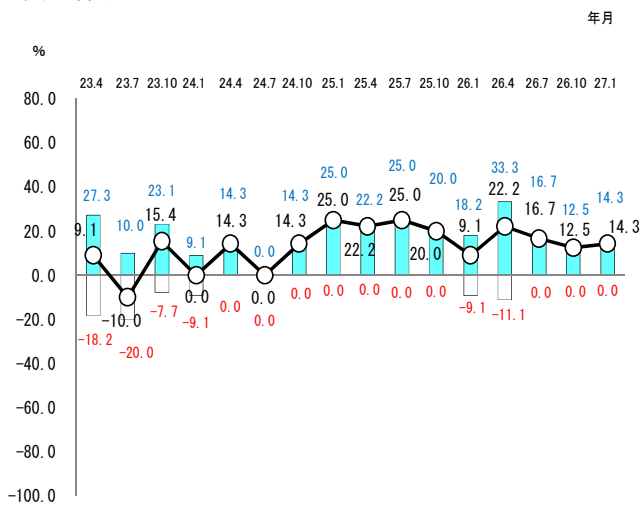
客数 (受注件数)



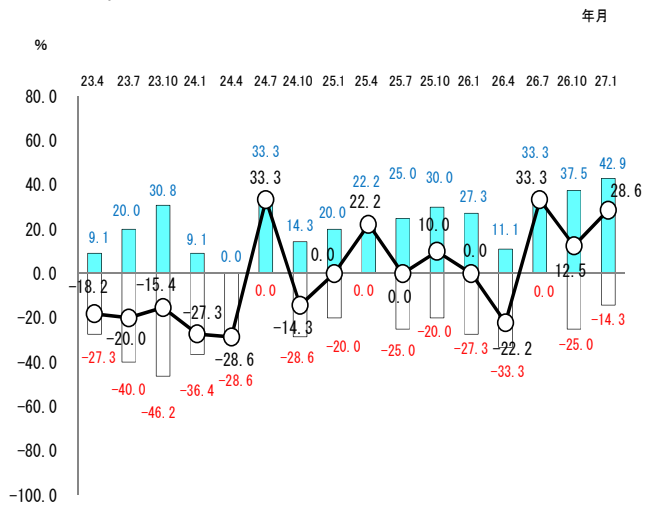
販売価格



資金繰り

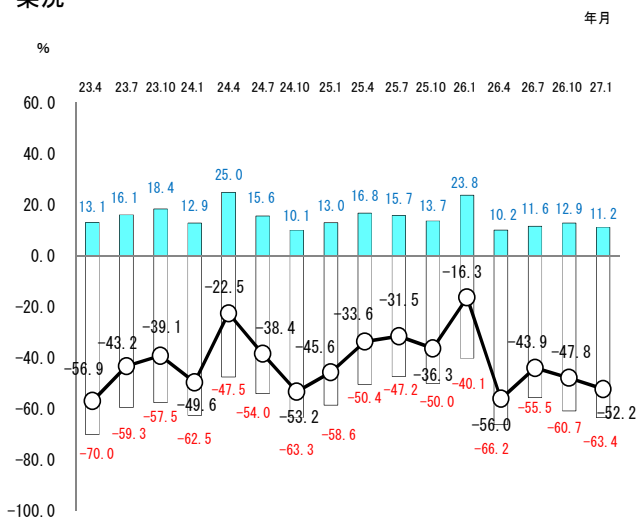


収益率

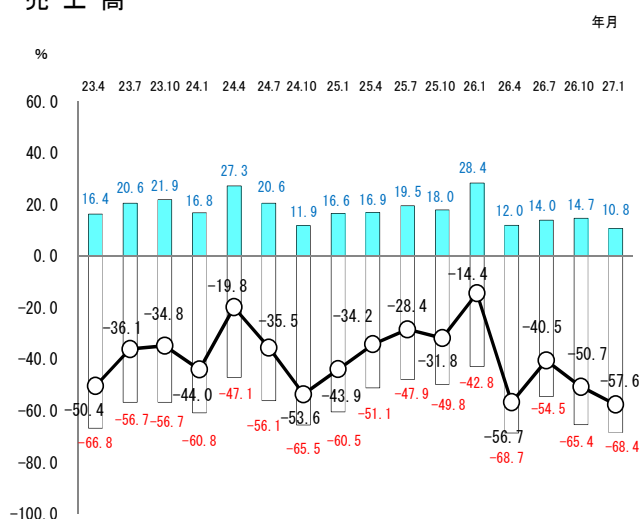


ウ 小売業・卸売業

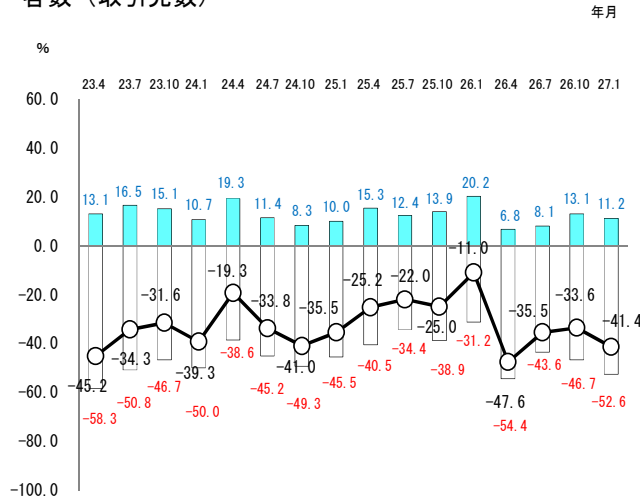
業況



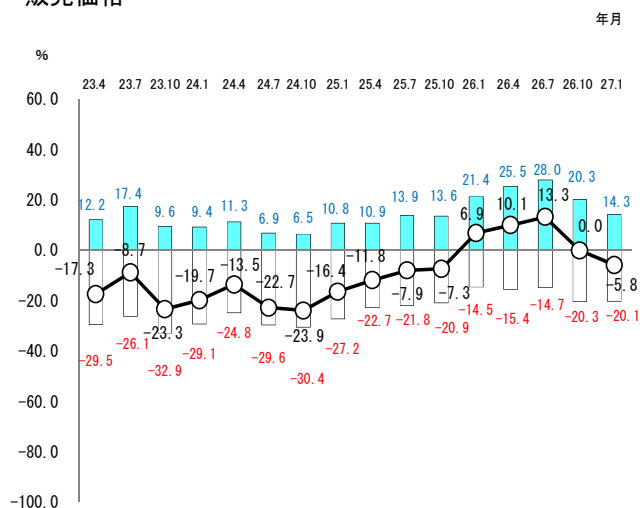
売上高



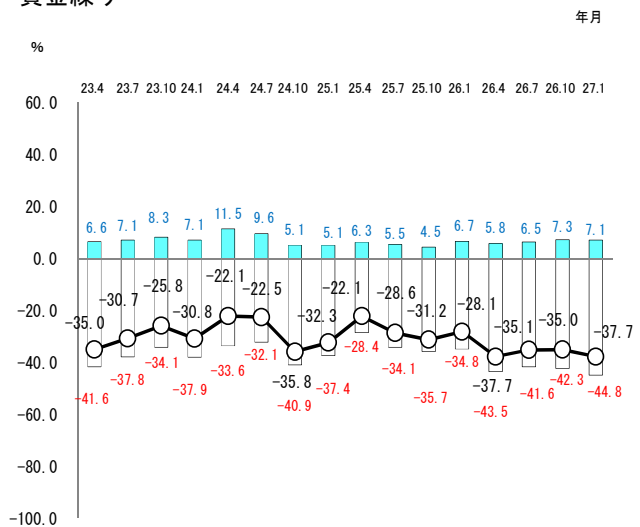
客数 (取引先数)



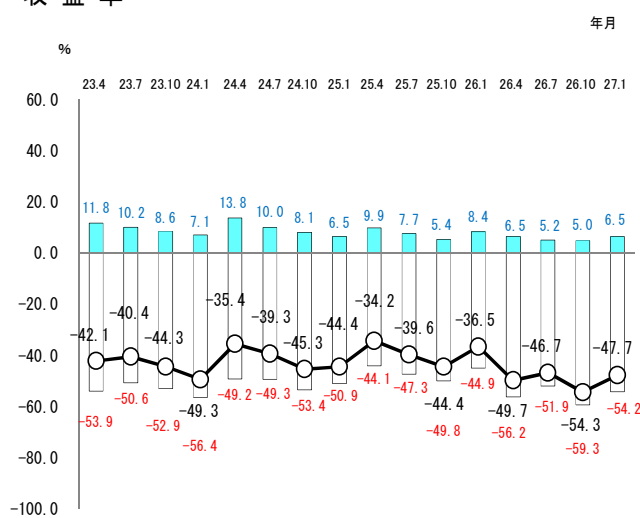
販売価格



資金繰り

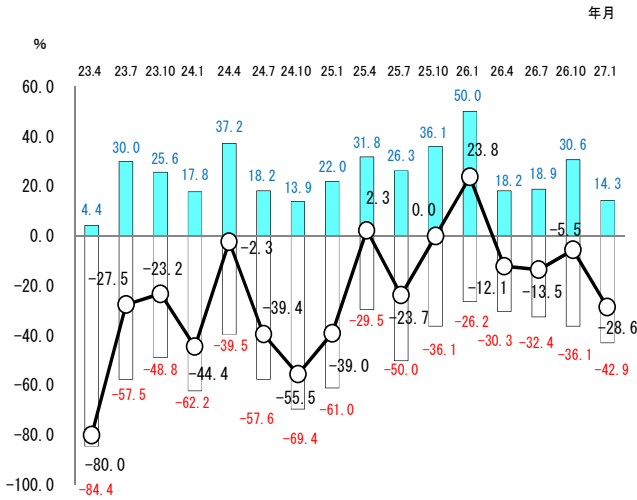


収益率

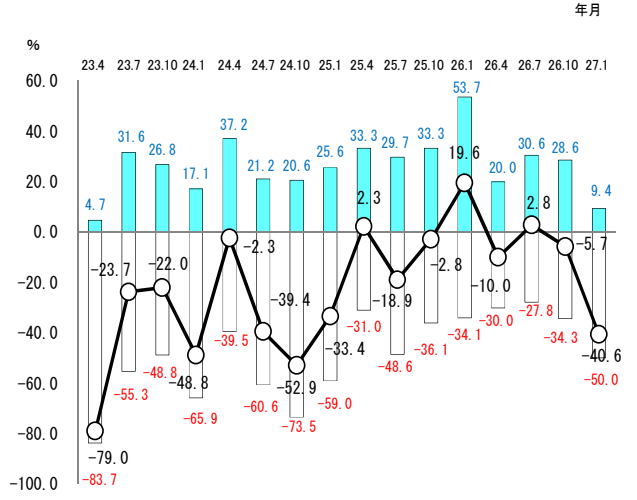


工 飲食業・宿泊業

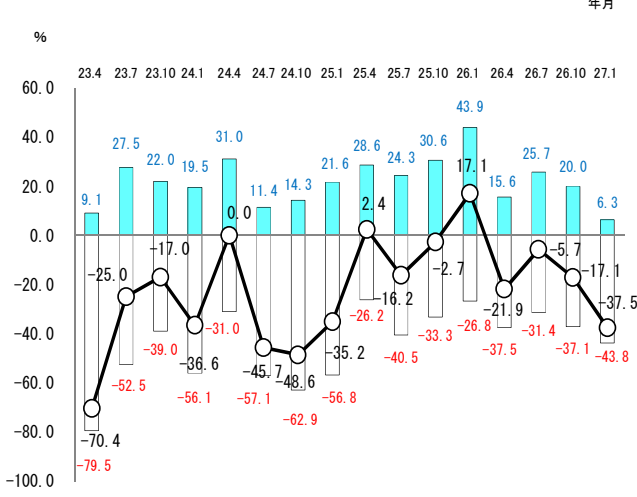
業況



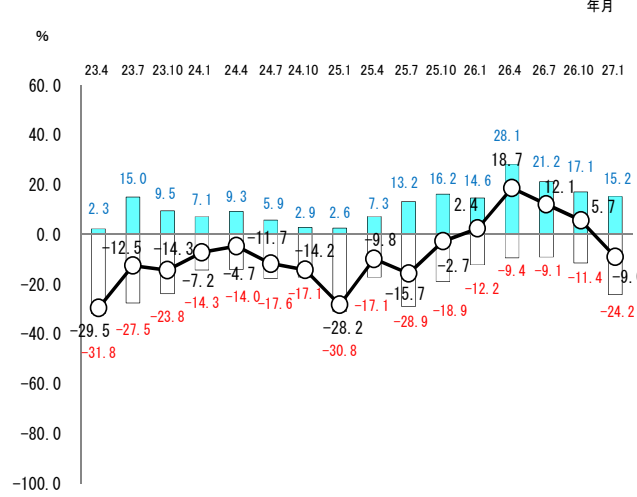
売上高



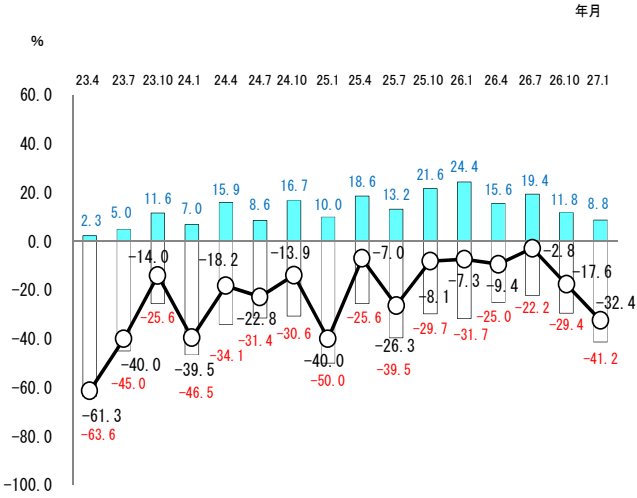
客数



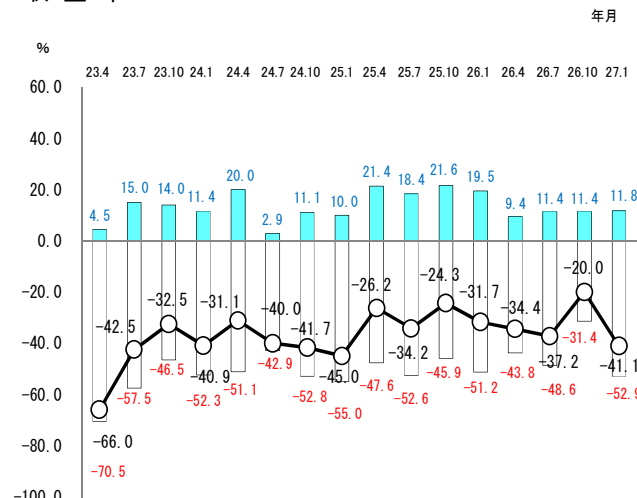
販売価格



資金繰り



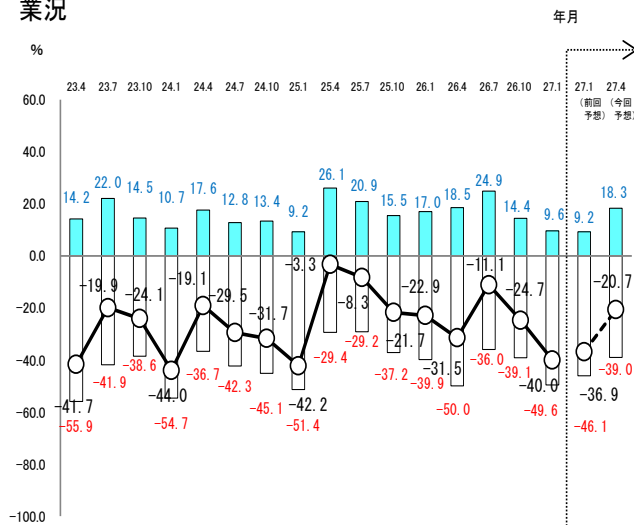
収益率



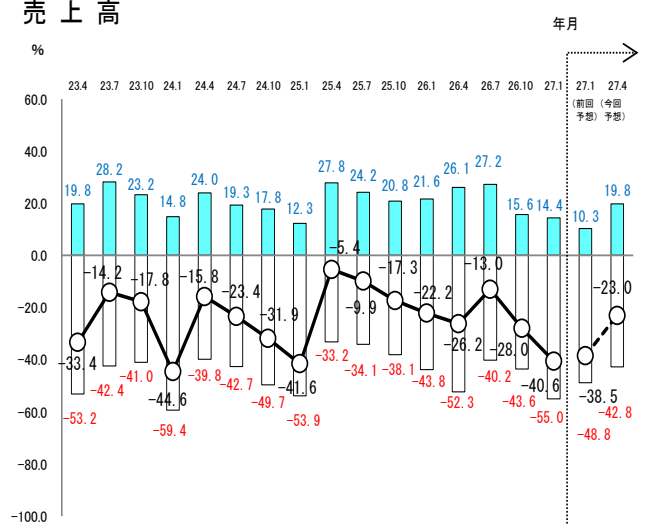
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

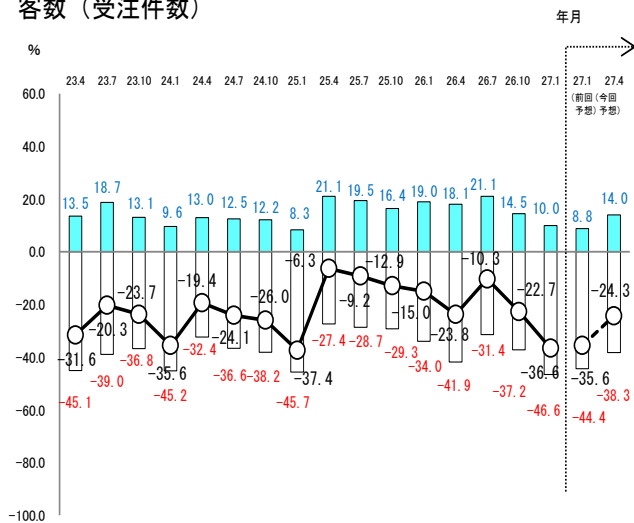
業況



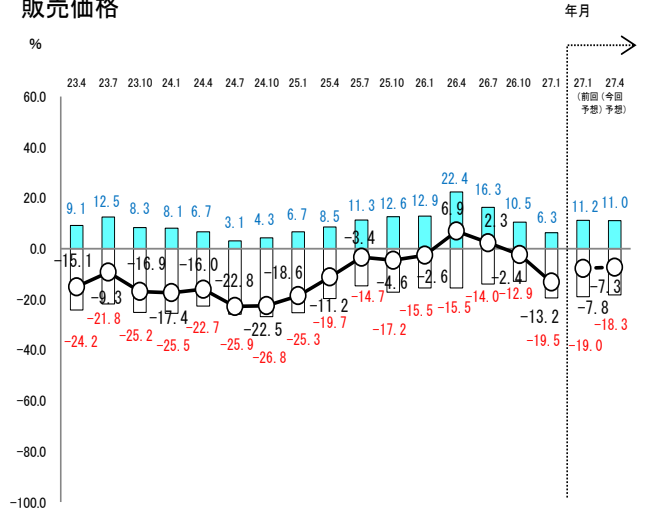
売上高



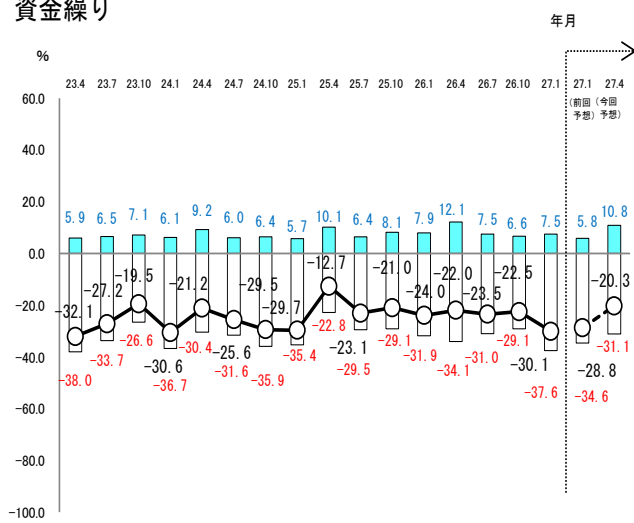
客数 (受注件数)



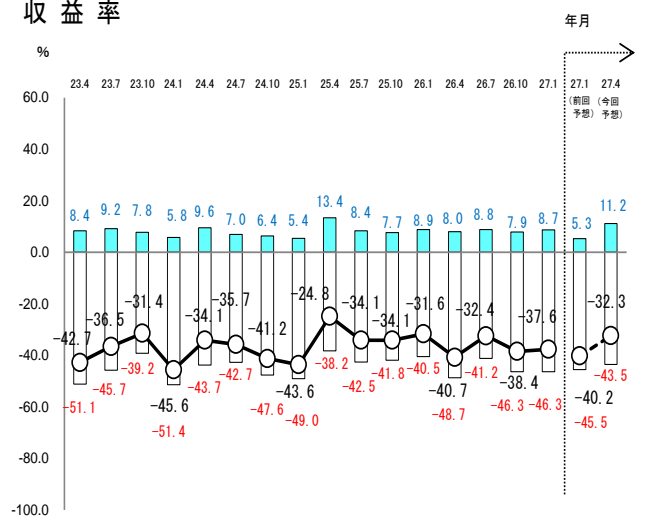
販売価格



資金繰り

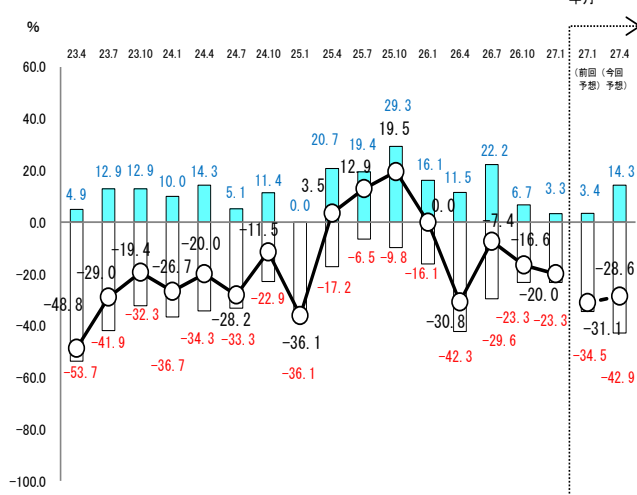


収益率

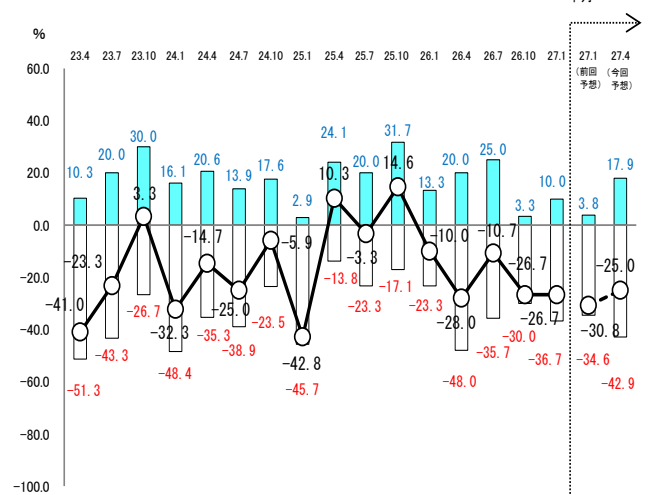


ア 建設業

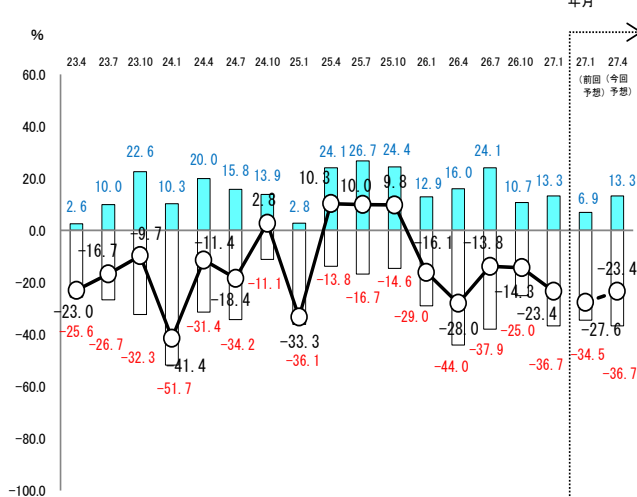
業況



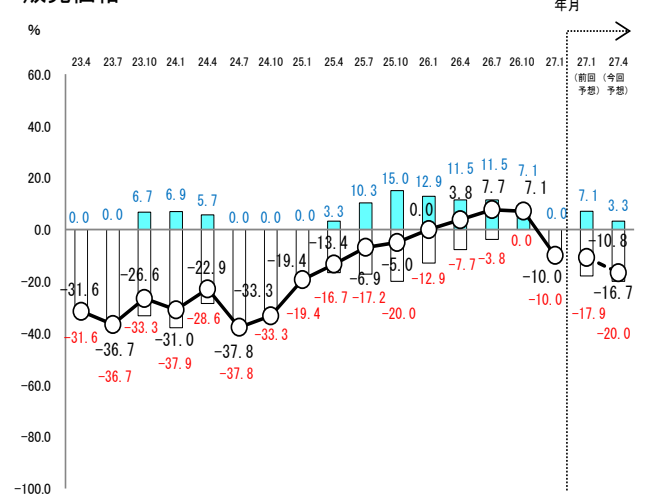
売上高



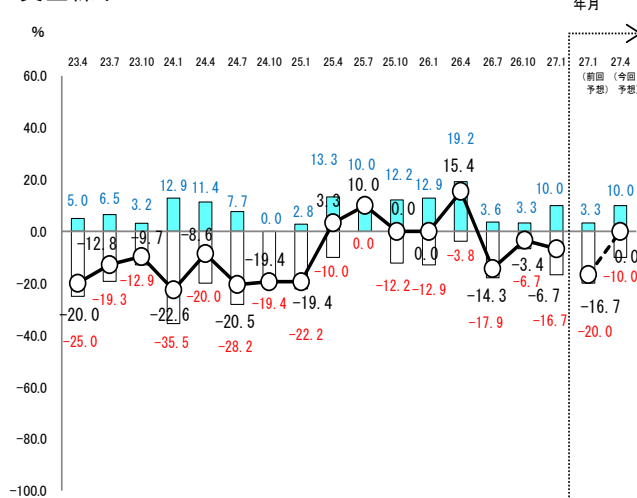
客数 (受注件数)



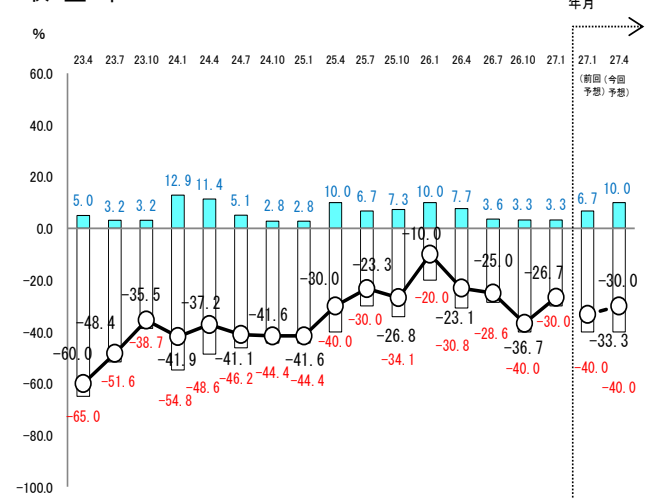
販売価格



資金繰り

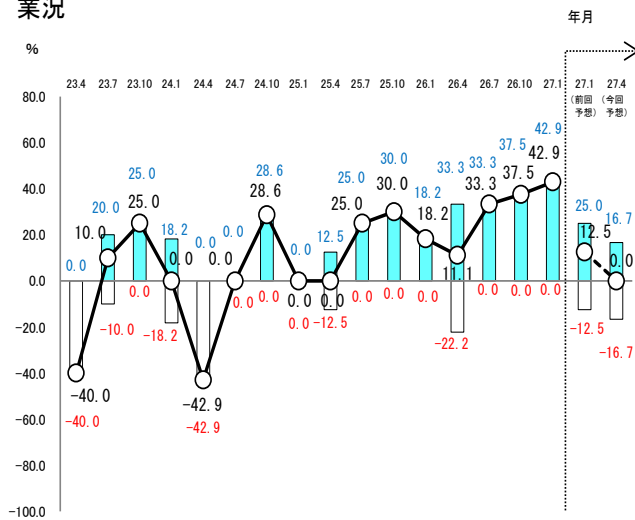


収益率

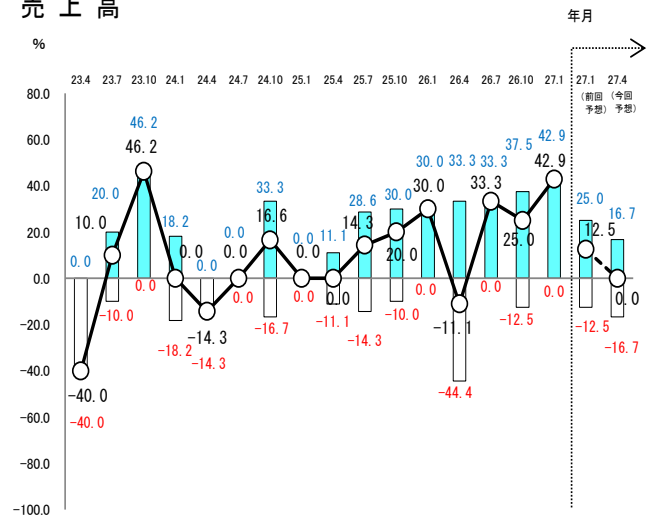


イ 情報サービス業

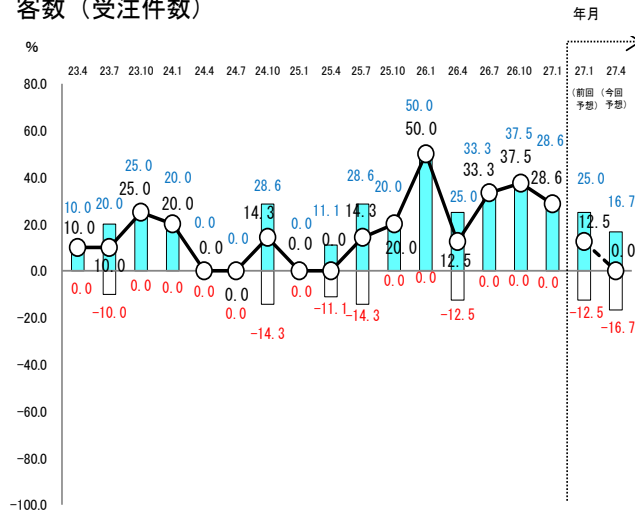
業況



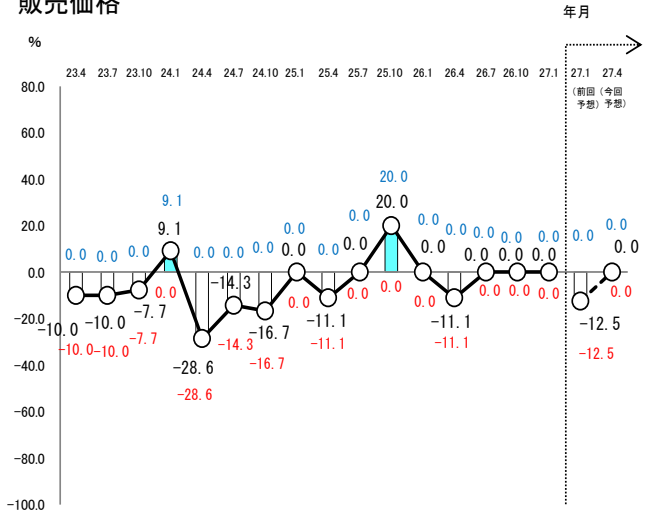
売上高



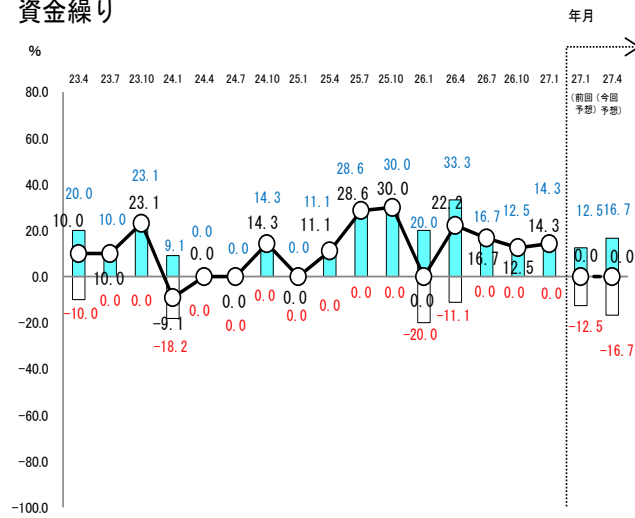
客数 (受注件数)



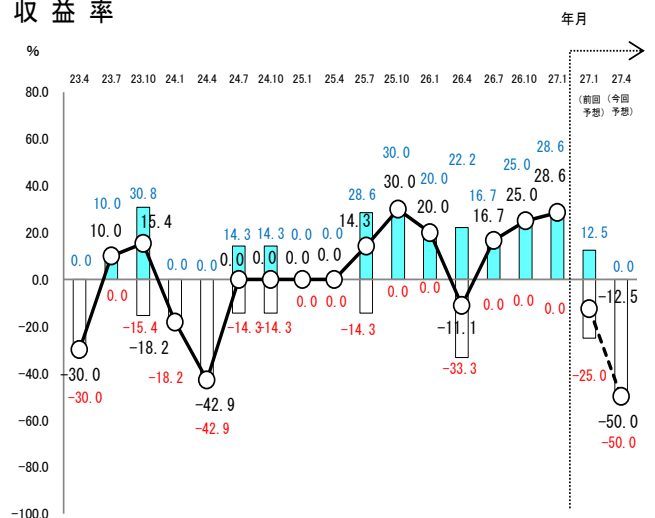
販売価格



資金繰り

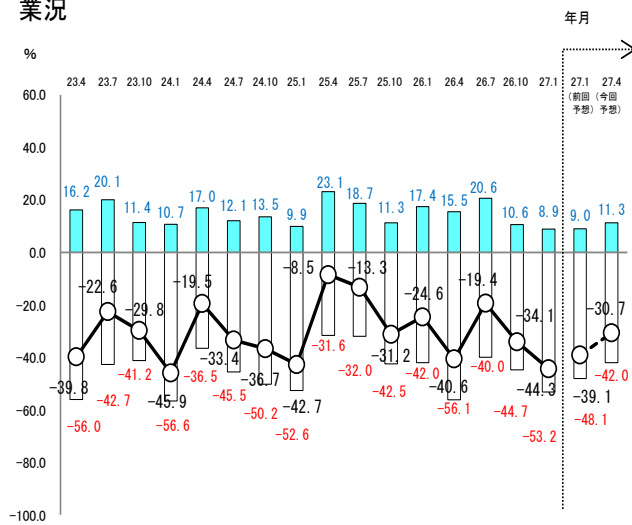


収益率

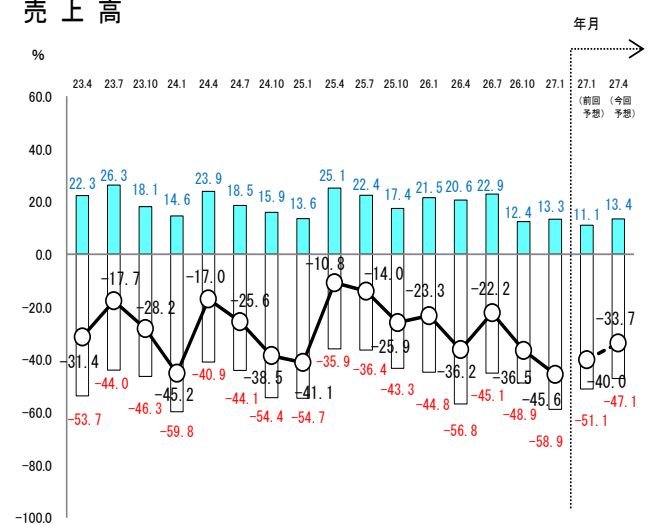


ウ 小売業・卸売業

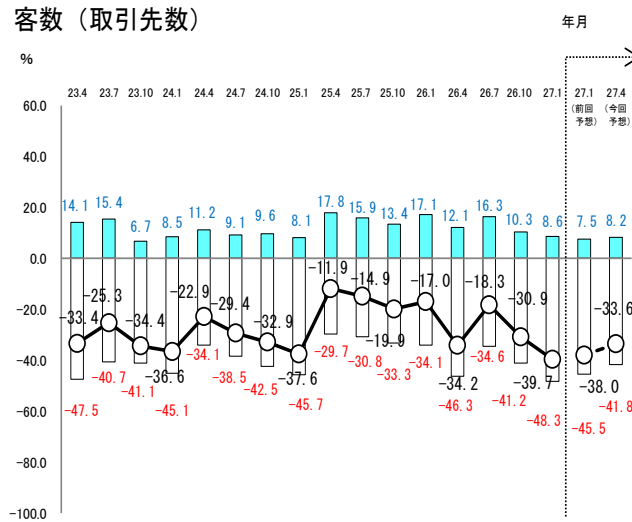
業況



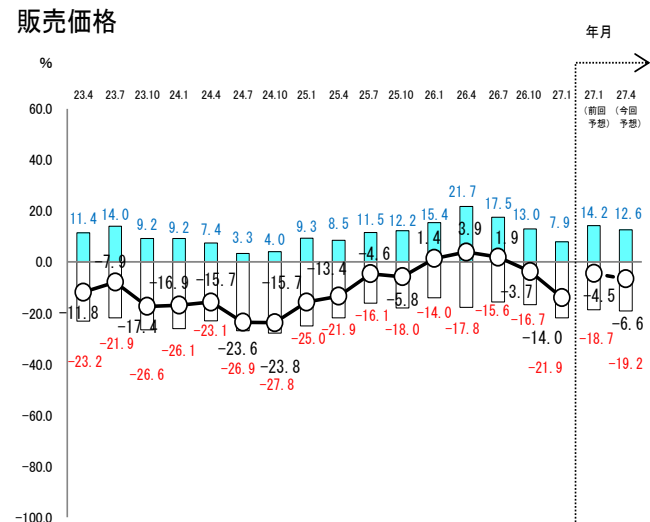
売上高



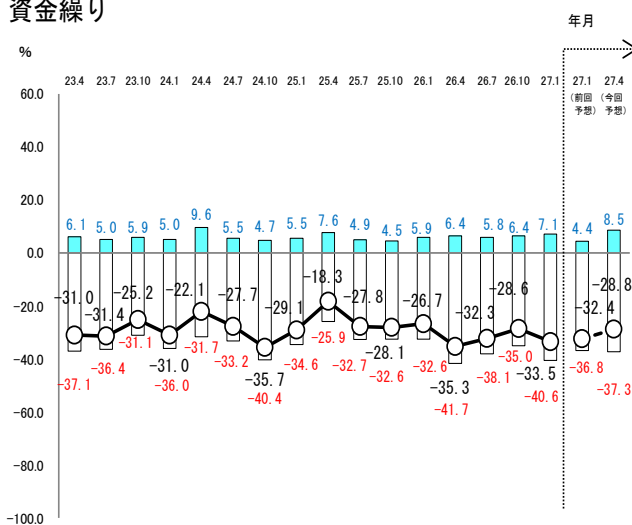
客数 (取引先数)



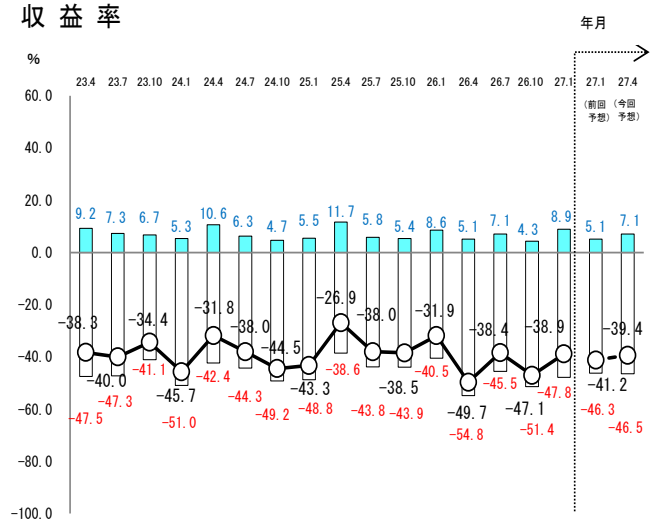
販売価格



資金繰り

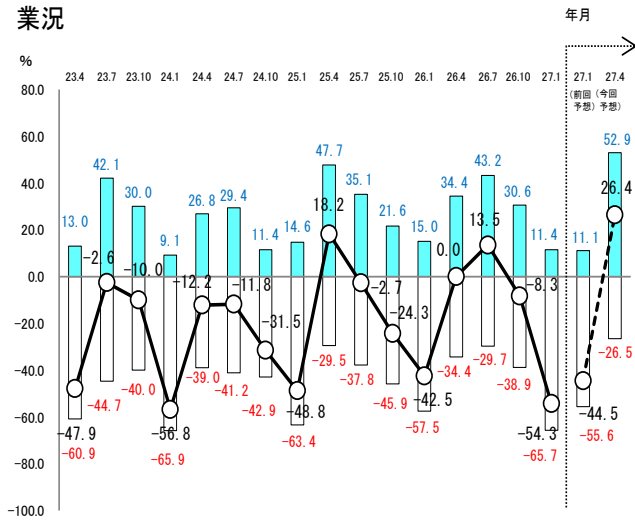


収益率

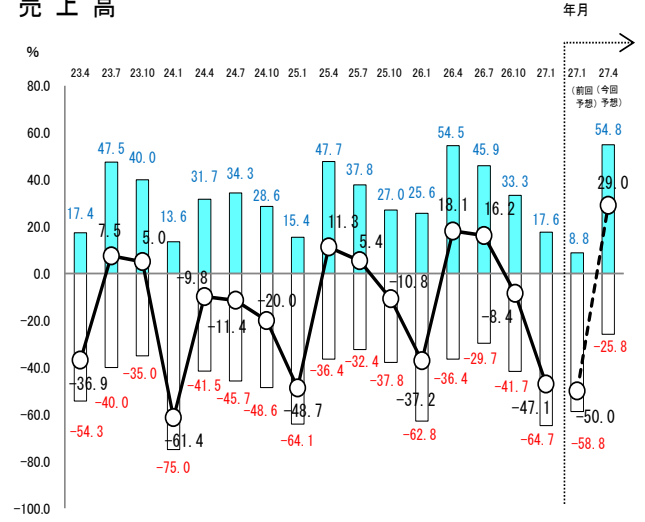


工 飲食業・宿泊業

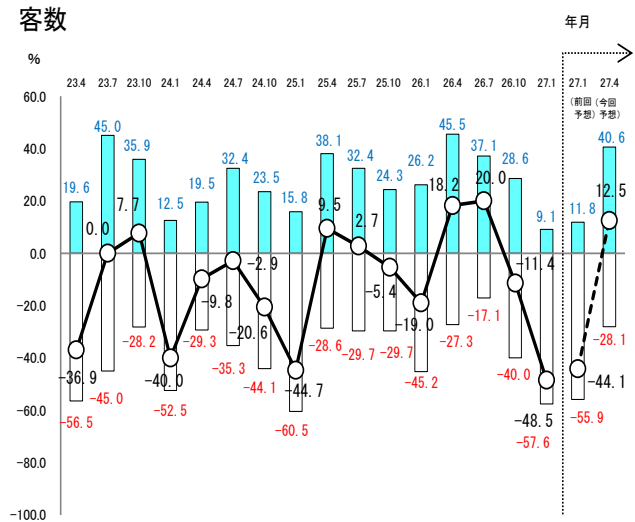
業況



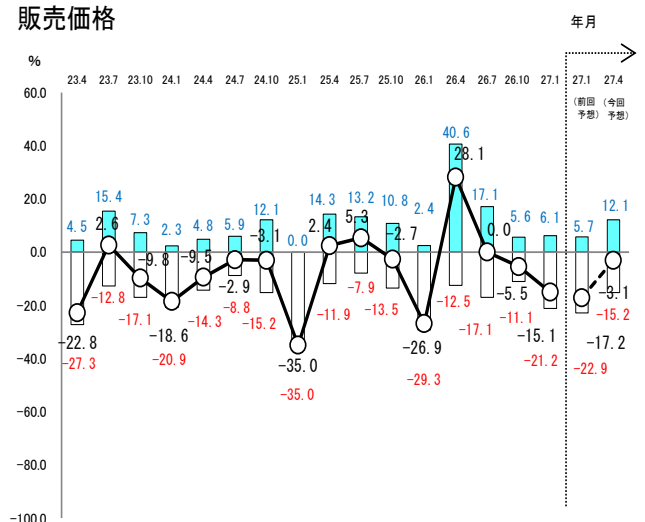
売上高



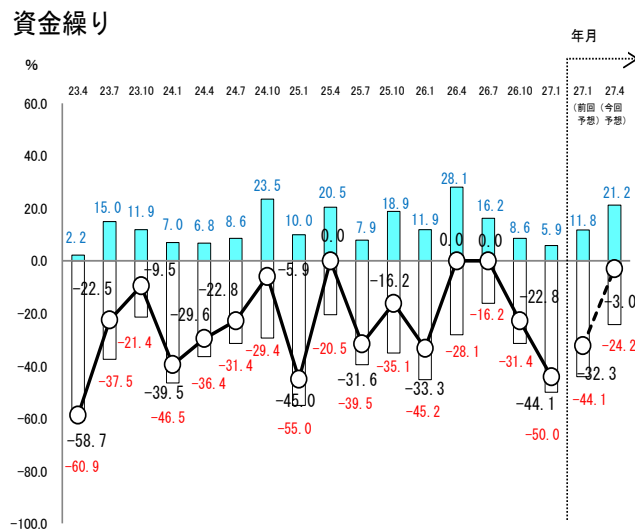
客数



販売価格



資金繰り



収益率

